

読売理工医療福祉専門学校

学校関係者評価 報告書

2020年度 第1回

2020年8月1日

学校関係者評価委員会

2020 年度 第 1 回 学校関係者評価委員会 開催報告

日時：2020 年 8 月 1 日（土）14:00～15:30

場所：読売理工医療福祉専門学校 502 教室

出席者

委員会委員

- ・渡部俊一：卒業生・理工専校友会会長
- ・杉田明治：地域・春日後楽園地区 市街地再開発組合会長
- ・羽場宏祐：企業等・放送映像学科
- ・鹿毛信一：企業等・建築系学科
- ・小嶋 守：企業等・電気電子学科
- ・伊藤大輔：企業等・臨床工学系学科
- ・大庭尚子：企業等・介護福祉学科

（欠席委員）

- ・中村孝之：団体等・日本建築衛生管理教育センター

学校側出席者

- ・千葉康文：理事長
- ・松井敏宏：法人本部長
- ・渡邊敏章：校長
- ・佐塚正樹：事務局長
- ・小川貴之：建築系学科長
- ・加瀬俊広：放送映像学科長
- ・秋田谷徳靖：電気電子学科長
- ・沢田雄太：臨床工学系学科長
- ・曾我辰也：介護福祉学科長
- ・小野恭子：留学生相談室副室長
- ・久保真樹：法人本部

【議事】

新型コロナウイルス感染症予防観点から報告事項は資料にまとめ、報告・質疑等は必要最小限に留め進行した

① 学院の現況報告 理事長

2020 年度の理事会報告

学校移転の経緯

新型コロナウイルス感染症感染による学院 2 校の報告

② 2019 年度の総括 校長

各学科別卒業率、就職率等の報告（補足として関連する学科長の報告）

2019 年度の重点目標に挙げた 3 点の報告

1) 留学生に対する適切な指導

留学生に対して、日本語教育の充実に力を入れた、入管法の改正による厳格な在留管理を行

った。

2) 除籍・退学率の改善

除籍退学率は各学科のそれぞれの学生指導により、前年度より 1.3%減少する事ができた。

3) 卒業生の動向把握

今年度、卒業生の動向把握を挙げ積極的に住所等の把握に努めたが、卒業生の受動的な行動に委ねる形になっており、良い成果は得られなかった。来年度、校舎移転で ICT 整備されることで、それらを活用し引き続き動向把握手段を改善する。

③ 2020 年度の

各学科別卒業率、就職率等の報告（補足として関連する学科長の報告）

2020 年度の入学生と報告

新型コロナウイルス感染症感染による授業運営

同感染予防対策と授業運営のガイドラインの報告

④ 評価委員からの意見

地域委員：再開されたこの地域に学校が移転されてきたこと歓迎します。再開前から地域として様々な行事などを通して連携する。今後、学校と連携を深めたい。

企業委員：新型コロナウイルス感染症のガイドラインを定めて、学生や教職員の皆さんの感染予防に務めた結果、校内で発生はない事は大変だったと思う。今後も感染予防に努めて頂きたい。

企業委員：新型コロナウイルス感染症による就職への影響が出ると思うが、しっかりとした就職指導体制を作って欲しい。

企業委員：当社では留学生を数名受け入れているが、人物もしっかりしており仕事に対しての姿勢も他の社員と変わらない。留学生の就職に対しての隔てなく行ってもらいたい。

企業委員：除籍退学者について前年度より 1%以上少なくなっているが、目標の 10%以下を目指して今後も手を抜かずに指導をお願いする。

企業委員：新型コロナウイルス感染症による緊急事態制限で 4 月から 6 月まで授業が予定通りに進んでいないようだが、教育の質は落とさずに授業を進めて欲しい。

⑤ 2020 年度の重点目標：渡邊校長

各委員からの意見を踏まえ、今年度の重点目標は次の 3 点としたい。

- ・新型コロナウイルス感染に対しての感染予防策に努め、学生・教職員の安全を確保する。
- ・除籍退学率 10%以下を目標として学生の指導にあたる。
- ・感染予防に務めながら、本校特色である実践的教育の質を確保する。

⑥ 学校施設見学 各学科長による学科設備説明

3 階（PC 室・製図室）→ 5 階（学生ラウンジ・教員室・共用部・介護実習室・臨床実習室）→

4 階（テレビスタジオ・電気実験室）→ 2 階（図書室・事務局） ※各学科実習室は学科長が説明

以上